

共栄学園の新型コロナ対応とICTの活用

コロナ対応の基本方針

生徒の健康・安全・安心

学習・学校活動の継続

Afterコロナの学校展望

ICT活用の基本方針

授業・自主学習支援

コミュニケーション

リテラシー&安心

生徒の健康・安全と学習・学校活動の維持のバランスを取りながら学校行事・諸活動の停止と解除、登校日設定、ICTの活用などを段階を踏みながら実施

生徒・保護者とのコミュニケーションは複数のツールを活用

- ・緊急メール配信システム(FairCast)
- ・学校ホームページ
- ・スタディサプリ[高校](課題配信・アンケート配信・メッセージ配信)
- ・Classi(課題配信・アンケート配信・メッセージ配信)
- ・遠隔会議システム(Zoom)

学習活動の継続を段階的に実施

- ・必要な教材・資料の郵送
- ・スタディサプリ[高校]による動画視聴の課題を計画的に配信
- ・Classiによる動画視聴の課題を計画的に配信
- ・遠隔会議システム(Zoom)による双方向授業を実施

健康管理・生活指導・進路指導

- ・スタディサプリ[高校]・Classiのメッセージ・アンケート機能などを活用して、健康調査・生活調査・進路希望調査などを実施
- ・遠隔会議システム(Zoom)によるHR活動を実施
- ・動画視聴とアンケート調査による進路指導
- ・分散登校によるHR指導を実施

今後の学校活動とICT活用の推進

- ・部活動・学校行事・授業など感染防止策を講じながら段階的に実施。
- ・学校行事の精選や、諸活動の見直しを図り、Afterコロナの世界での学校活動を検討・推進する。
- ・今後の第二波、第三波の感染拡大の可能性を見据えて、今般の経験を活かし、ICT活用を推進し、持続的な学校活動が行えるように備える。
- ・新型コロナ感染症以外の不足の事態や、平時においても、ICTを活用した学校活動を推進し、新しい時代を担う生徒の指導に活かしていく。

2月22日	「新型コロナウイルスによる肺炎」への対応について発表・告知	「新型コロナウイルスが学校保健安全法第一種感染症指定(2月1日)」
2月28日	3月11日までの主要行事(卒業式・期末試験など)以外の諸活動停止を指示	「内閣総理大臣より学校の臨時休校要請発表(2月27日)」
3月4日	諸活動停止期間の延長および家庭学習期間のWEB動画学習教材(スタディサプリ)による学習を指示。中学生は課題配布。	「文部科学大臣記者会見(2月28日)」および「内閣総理大臣記者会見(2月29日)」の春休みまで学校臨時休業要請
3月14日	諸活動停止を制限付きで一部解除	「新型コロナウイルス感染症東京都緊急対応策(第3弾3月12日)」発表
3月26日	3月29日から諸活動停止を指示 特進コース新入生入学前講習中止	東京都知事緊急会見外出自粛要請(3月25日)
4月11日	臨時休校・生徒諸活動禁止・生徒校内立入禁止、入学式中止発表。教職員在宅勤務。Classi、スタディサプリによる課題配信。	7都道府県に「緊急事態宣言」発出(4月7日)
4月17日	学校閉鎖(4月26日まで) 中学生教科書等郵送。	「緊急事態宣言」対象を全国に拡大(4月16日)
5月7日	・臨時休業期間を5月31日まで延長 ・オンライン高3進路ガイダンス動画配信開始 ・オンライン高3進路希望調査実施	「緊急事態宣言」5月31日まで延長(5月4日)
5月11日 ～15日	・Classiによる朝のHR活動開始 ・時間割に基づいた課題学習開始(Classi、スタディサプリ) ・学年別登校実施(1年生12日、2年生13日、3年生14日) ・遠隔会議システム(Zoom)によるHR活動テスト配信	
5月18日 ～22日	・遠隔会議システム(Zoom)による朝のHR活動開始 ・時間割に基づいた課題学習(Classi、スタディサプリ) ・学年別時差登校実施(22日)	
5月25日 ～29日	・遠隔会議システム(Zoom)による朝のHR活動 ・遠隔会議システム(Zoom)による授業開始 ・学年別時差登校実施(29日)	
6月1日～	・分散登校と遠隔会議システム(ZOOM)による正規授業開始 ・段階を経て、通常体制に移行 ・夏期休暇を短縮して授業数を確保	「緊急事態宣言解除」(5月25日)
6月15日～	・短縮授業時間で全学年登校・対面授業開始 ・1学期を8月8日まで延長し、夏季休暇を2週間、2学期の開始を8月24日からとする ・夏期勉強合宿、文化祭、体育祭の中止決定	

学校再開後の感染対策と活動

- ・検温ステーション、消毒ステーションの設置。
- ・高温多湿の気候の中で、全教室エアコンをフル稼働させながら、窓・ドアを開放し換気を実施。
- ・生徒の感染対策、熱中症対策、体力・抵抗力維持のため、1学期中は40分短縮授業を実施。
- ・部活動は感染症対策・熱中症対策を第一に工夫を凝らして短時間で実施。
- ・学校行事は精選し、感染リスクのあるものは延期・中止。
- ・進路ガイダンスなどは動画配信などを活用。

